

日時：2024年3月17日（日）14:00～17:00

場所：山梨大学東京オフィス平河町会議室

オンラインを併用

日本パーソナリティ心理学会第155回常任理事会議事録

出席：松田英子理事長、尾見康博副理事長、小塩真司、文野 洋、田中麻未、中村 真、
向田久美子、森 津太子、武田美亜

※ 川本哲也次期常任理事が業務引き継ぎのためオンライン参加（引継ぎ終了後、中途退席）

※ 外山美樹次期常任理事・第33回大会準備委員会委員長が、業務引き継ぎおよび第33回大会の準備状況報告のため参加

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

(1) 機関紙掲載情報

第32巻3号が2024年3月発行予定である旨の報告があった（2023年12月末までに採択された論文が掲載、原著6篇、ショート8篇（うち事前登録研究1篇））。

また、第33巻1号（2024年7月発行予定）の掲載予定論文についても報告があった（2024年4月末までに採択された論文が掲載、2024年3月14日時点で原著3本、ショート4本（うち事前登録研究1篇））。

(2) 審査状況

以下の通り、2023年度の審査状況（2023.12.12時点）について報告があった。

年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2023							
1	0			0	0	0	5
2	2			2	0	0	5
3	7			1	0	0	5
4	2			1	0	0	8
5	4			3	0	0	2
6	1			0	1	0	7
7	3			2	1	0	3
8	2			3	0	0	4
9	4			1	0	0	5
10	1			1	0	0	11
11	1			0	0	0	8
12	5			3	0	0	1
計	32	0	0	17	2	0	64
年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2024							
1	2			0	0	0	7
2	5			2	1	0	3
3				1			2
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
計	7	0	0	3	1	0	12

年度	採択	不採択	取り下げ	投稿数
2008	35	15		
2009	31	20		
2010	31	16		
2011	30	17		
2012	36	22	5	84
2013	28	16	5	64
2014	24	25	9	72
2015	33	26	3	71
2016	30	30	12	68
2017	29	25	7	81
2018	35	30	10	78
2019	33	40	8	79
2020	33	30	6	79
2021	31	19	8	57
2022	28	19	3	53
2023	32	17	2	64

(3) 編集委員会

2024年3月22日に開催予定であることが報告された。

2 経常的研究交流委員会（田中委員長）

3月2日に開催された大会外企画「あなたの研究 Tips ちょっと教えてください」について、実施状況の報告があった。

2024年3月31日をもって、田中麻未（委員長、帝京大学）、岡田涼（香川大学）、井川純一（東北学院大学）、松木祐馬（中部大学）の4名が委員を退任すること、2024年4月1日から解良優基（南山大学）、臼倉瞳（東北学院大学）、向井智哉（福山大学）の3名が新規委員として就任する旨の報告があった。また、第33回大会（筑波大学）での委員会企画について、以下の通り報告があった。

① 企画シンポジウム

② MPP 企画

※ 招待講演については、依頼していた研究者との日程調整がむずかしく、見送ることとなった

3 広報委員会（文野委員長）

(1) 定例の活動

ウェブサイトの更新（2回）、メールニュースの配信（9件＋再配信のお知らせ1件＋再配信のお知らせ3件）、ML上での業務調整などの活動内容が報告された。

メールニュースの未配信とその対応について、以下の通り報告された。

3月4日、2月15日配信メールの投稿者からメールニュース未配信の連絡があり、委員の間で確認を取ったところ、一部の委員に配信されていないことが確認された。配信システム上ではエラーは確認されていないため、原因は特定できなかった。この過程で、アドレス帳から登録が外れている会員が数名含まれていることが判明したため、3月8日付のアドレス一覧を取得し、アドレス帳を更新の上、再配信を行った。現時点でとくに配信上の問題は確認されていない。引き続き配信状況のモニタリングを行っていくとの報告があった。

(2) ヤングサイコロジストプログラム（YPP）2024 進捗状況 YPP2024 について、以下の通り、企画担当者の報告があった。

- ・上田 皐介（名古屋大学 D2・代表）
- ・杉山 陽香（中京大学 M2）
- ・真鍋 一生（名古屋大学 M2）
- ・中荒江 大河（追手門学院大学 M1）

(3) 委員会の実施

2月19日に委員会が実施され、以下の通り内容の報告があった。

4月就任予定の委員候補者をオブザーバーとし、業務内容の確認と次年度の分担の決定、業務内容の改善点について検討を行った。

メールニュースの配信は従来どおり、配信依頼の投稿受理から1週間以内とし、誤配信を

防ぐため2名の委員が配信設定・確認にあたること、常任理事会からの依頼で即日（や休日明けすぐ）の配信が避けられない場合のみ、委員長が単独で配信を行うこととした。

(4) 今後の活動予定（継続を含む）

ウェブサイトの更新、メールニュースの配信（随時）、委員分担コンテンツの更新を行っていく旨の報告があった。

(5) 委員構成

2024年3月31日をもって、文野洋（委員長、文京学院大学）、沼田真美（副委員長、関西国際大学）、川久保惇（埼玉学園大学）、下司忠大（立正大学）、山岡明奈（沖縄国際大学）の5名が委員を退任すること、2024年4月1日からの新体制について報告があった。

4 学会賞選考委員会（向田委員長）

学会賞名称の変更について、2024年度大会での表彰から名称が変わる予定であることが報告された。委員会の名称を変更するかどうかについては新年度に確認することとした。

III 日本心理学諸学会連合

松田理事長より、新年度も会議は6月（対面）と12月（オンライン）に開催予定であることが報告された。

IV 第31回～第32回大会発表論文集のJ-STAGE掲載について

中村事務局長より、JPASSを介して日本印刷(株)に委託し、掲載作業を終了していることと、第33回以降も可能であればこの方法を踏襲したい旨の報告があった。併せて、大会ウェブサイトが大会終了後1ヶ月程度で閉鎖し、それと合わせたタイミングでJ-STAGEにアップロードすることで、大会ウェブサイトかJ-STAGEのどちらかで発表論文集を閲覧可能にしたいとの意向が示された。

V その他

特になし

審議事項

I 「国際学術交流奨励賞」（EAPP主催のサマースクール（SSPS）への招待参加者）の選考について（追認事項）

中村事務局長より、1月にオンラインで行われた臨時打ち合わせにより検討がなされた旨が報告され、審査の結果、岡本茉莉さん（会員番号00152025）に決定したことが、本会議で追認された。

II ヨーロッパ パーソナリティ心理学会（EAPP）との提携・契約等について（確認事項を含む）

松田理事長および小塩編集委員長より、現状の報告がなされた。本学会より審査者を5名選出する必要があるが、特に期限を設定されてはいない。Personality Science への投稿も促進することが提案され、承認された。

III 財務関連事項（2024年度予算案など）

森財務担当常務理事より、資料に基づいて2024年度予算案が示された。前年度からの変更等について森財務担当常任理事からの説明を受け、大枠については承認された。

2024年度予算に関連して、常任理事会や総会など学会全体での利用のためのZoomアカウントを作成することが尾見副理事長から提案され、承認された（これまでは、常任理事の所属先の個人アカウントを利用していた）。理事長を責任者としてアカウントを作成し、理事長の任期ごとに設定すること、各委員会での企画などの際は、1ヶ月プランなどを委員会で購入して利用することを申し合わせた。

IV メールニュース配信に関するJPASSからの提案について

中村事務局長より、資料に基づいて説明があった。JPASSの契約内（追加料金なし）で会員への一斉メール送信機能（メールニュース的な利用）が使えることの案内がJPASSよりあった。添付されたマニュアルを確認のうえ、半期あたりをめぐりに、チェロトーンとも相談の上、システムの切り替えを検討することが提案され、承認された。

V 名誉会員の推挙について

中村事務局長より、「理事長を務めた者」という内規に基づき、浮谷秀一先生を推挙することが提案され、承認された。第33回大会時に開催予定の理事会・総会での推挙に向けて準備を進め、書類が整い次第常任理事会での承認手続きを行うことを申し合わせた。

VI 会員の入退会に関する件

中村事務局長より、別紙資料に基づいて、退会者25名(2024年3月31日退会希望)が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。入会審査については、事務作業が遅れているため、JPASSでの資料準備が整い次第、別途、常任理事会ML審議にて審査を行うこととした。

以上の承認を受けて、2024年3月13日現在、会員総数は885名である。内訳は、一般会員693名、院生会員173名、学生会員4名、名誉会員10名、賛助会員5名。

※賛助会員の有資格者について、確認の照会を行うことを申し合わせた。

VII 第33回大会について

外山大会準備委員長より、資料に基づいて現状の説明があった。確認事項として、協賛金等の依頼先および料金設定についての提案がなされた。審議の結果、大会参加者にのみ配布する予定のプログラムへの広告掲載料については他学会等の相場も参照の上決定することで了承された。そのほか、委員会開催のための会議室の確保、総会（ハイブリッド開催）のためのWi-Fi設定の確認などがなされた。

優秀大会発表賞について、プログラム編成をする前に1次審査が済むようなスケジュールの調整検討の依頼が、常任理事会よりなされた。

VIII 次期常任理事への業務引継について

各担当の引継ぎがなされた。Web サイトの新年度体制への更新は 5 月を予定している。

IX 次回常任理事会の日程について

4 月 4 日（木）19 時 オンライン zoom ミーティング作成アカウントは未定

X その他

第 34 回以降の大会主催校は現時点で未定であることが報告され、依頼先候補について意見交換がなされた。

丸善から「パーソナリティ心理学事典」出版企画の打診があった旨が松田理事長より報告された。詳細については追って報告・提案される。

以上